

えんだより

2018年 12月号 **NO. 153**

シャローム三育保育園



今年も残すところ1か月となりました。「平成最後の～」が流行っているようですが、いよいよ本当に平成最後の師走を迎えました。今年はどうな一年だったのでしょうか。子どもの成長と共に、できるようになったこと、楽しかったこと、嬉しかったことのたくさんの思い出ができた事でしょう。世の中では地震や水害、事故や事件など本当に私たちの身近なところで起きたことがたくさんあり、他人事では無いと感じた一年でしたが、園児やご家族の皆さんが無事に一年を過ごす事が出来たことに感謝です。

年末年始は家族揃って過ごす事も多いと思います。一年を振り返って、あんなこと、こんなことと、皆で楽しく過ごした事を思い返して、楽しい時間を過ごしてください。

園長 村上 渉

* 掲示板練習メッセージ 12月1日頃配信いたします

お知らせ

うさぎ組担任の〇〇〇〇〇保育士が結婚され〇〇〇〇〇保育士になりましたので、よろしくお祈りいたします。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 礼拝	4 体操教室	5	6 英語教室 (3.4.5 歳児)	7 クリスマス会 リハーサル	8
9	10 礼拝 避難訓練	11 体操教室	12	13 英語教室 (3.4.5 歳児)	14	15 クリスマス会
16	17 礼拝	18 クッキング (3.4.5 歳児)	19 誕生会	20 英語教室 (4.5 歳児)	21 一日散歩 (5 歳児)	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 クリスマス お楽しみ会 (3.4.5 歳児)	26	27	28	29 年末休み
30	31 年末休み	★年末年始のお休み：12月29日～1月3日 1月4日から通常保育となります。				



クリスマスのご贈り物

もうすぐクリスマスですね。今年も保育園のクリスマス会では、恒例のくま組とうさぎ組で降誕劇を行います。イエス・キリストが生まれた夜に何が起きていたのか、クリスマスの本当の意味を子どもたちが劇を通して教えてくれます。

降誕劇のキャストは、案内役のナレーター、救い主イエスの母になったマリアとその夫のヨセフ、重要な神のお告げを伝える天使、人口調査と重なり帰省した人で満室の宿屋の主人、救い主の誕生を知らせる輝く星たち、その輝く星を見つけた東の国の3人の博士、そしていつものように野原で羊の番をしていた羊飼いと羊たちが登場します。

イエス様が生まれたベツレヘムという町は、パレスチナのヨルダン川の西側に位置します。羊や家畜は人々の生活には欠かせないものでした。救い主が現れるまでは、罪の贖罪として人間の身代わりに家畜を神に捧げる習慣がありました。羊飼いの仕事は羊の群れを連れ、餌を求めて何日も移動しながら生活する遊牧民です。当時は羊や家畜の世話をすることはあまり人からも認められず、獣に襲われる危険もある過酷な労働でした。聖書では人間を羊に、イエスを羊飼いに例えて書かれています。羊は群れで生活する習性があり、とても臆病で群れから離れるとストレスで病気になってしまう事もあるそうです。群れから離れないように群れを率いる先導者が必要です。人にはそれぞれ個性がありその人の生活や人生がありますが決して一人では生きていけません。聖書は私たち人間にとっての先導者はイエスであると言っています。

神様はすべての人の為にイエス様をこの世に贈ってくださったのです。

降誕劇の最後に“神様がイエス様というプレゼントを贈ってくださった”というセリフがあります。クリスマスはその神様からのプレゼントをお祝いする日です。そして、自分や家族や大切な人がこの日まで元気に過ごせたことへの感謝の気持ちを表す日です。私たちの“いのち”の存在にこそ本当の価値と意味がある“贈り物”であることを忘れないようにしたいものです。

